



わたしたちのころをあいのおこないでいっぱいにしましょう

あなたがたのとみのあるところに、あなたがたのころもあるのだ。

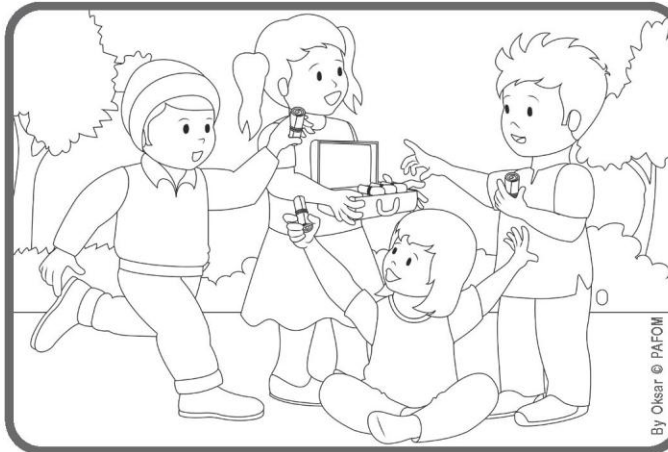
(ルカ 12・34)



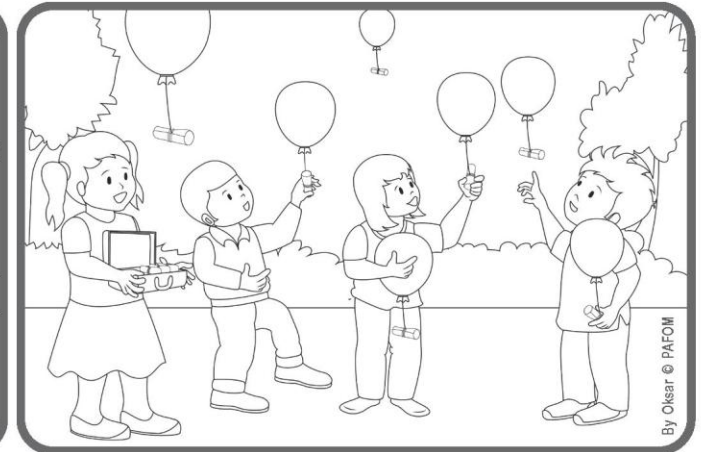
フオコラーレ
focolare.org/japan



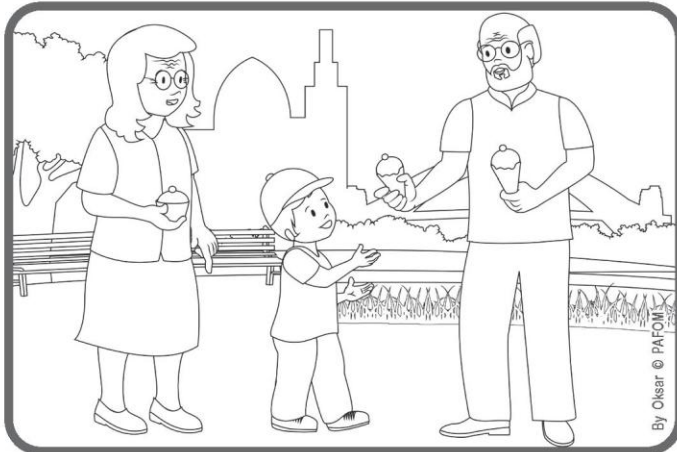
りょうをするときは、にもつをちゅうししてじゅんぶんします。たくさんもっていかねばなりません。たしじなものえらびます。わたしたちのいきかたも、なにかげしじかをえらばひつようがあります。



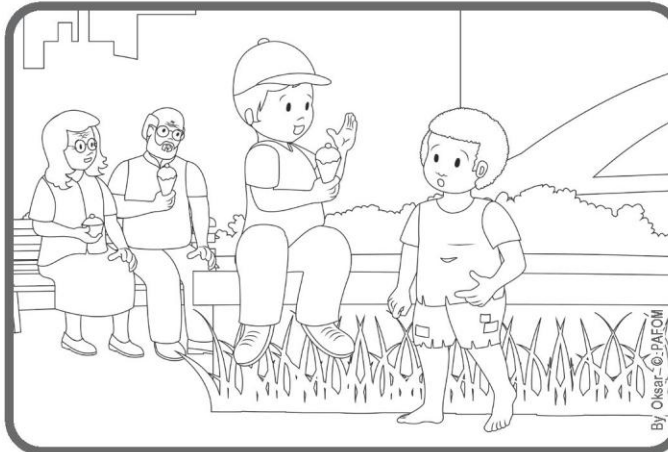
イエスさまはてんからきたので、そこいにはなにかひつようかしっています。かれといっしょにことみはりません。なにをたべるか、いいふくをきるかではなく、わたしたちのあいのおこないをいっぱいにしてもっていくのです！



イエスさまのために、にもつをじゅんぶんします。おもちゃをいっしょにつかったり、キャラメルをあげたり、てんごくゴからをつみましょう。イエスさまはうでしょう。「あなたたちのたからがあるところにあなたたちのころもあると。」

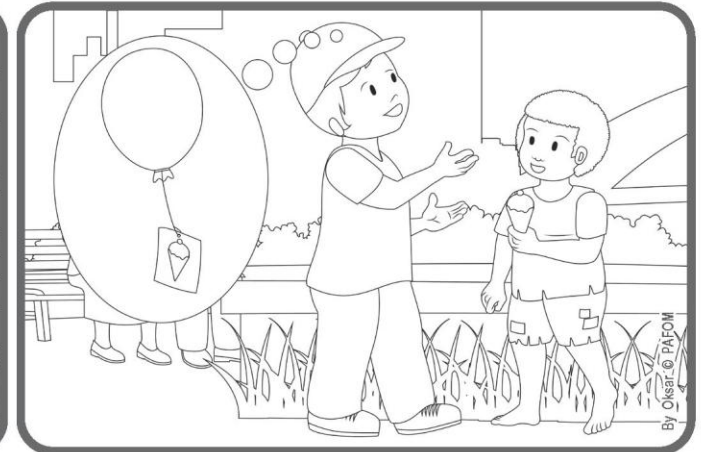


ぼくはマルコ、7さいです。なつになんにちかのあいだ、おじいちゃんのところいきます。あるひとてもいいこにしていたので、ぼくをさんぽにつれていって来ておじいちゃんはいすをかってくれた。



おじいちゃんたちはいすにすわっておしゃべりをはじめた。ぼくはすわってアイスを食べようとして、めをあげるとぼくのまえでいさこがぼくをみていた。

ジェン4とは、キアラ・ルービックが創立したフオコラーレの子どもたちです。
© PAFOM, フオコラーレ www.focolare.org. イラストと文-ジェン4センター監修



とってもおいしかった。すぐ食べようとおもったけど、ぼくはイエスさまをおもひました。「わたしにくれたね」ぼくはアイスをおあげた。とってもうれしかった。とってもかんなったようにかんじた。イエスさまに、にもつをプレゼントしたよ！